

小学生が長巻寿司作りへ挑戦

黒潮町農業委員会(吉尾好市会長)は、女性農業委員が中心となつて、3年間の任期内に町内全小学校を回り、子どもたちに地産地消の料理作りを教えています。

平成28年度は昨年2月9日に南郷小学校、2月21日に田ノ口小学校、2月23日に三浦小学校を訪問し、いずれも4年生から6年生で14m20cm×14m30cmの長巻寿司を完成させました。

元農業委員やJA高知はた女性部大方・佐賀支部の部員、地域の女性に教わりながら、千切など、熱心に包丁を使い、長巻寿司とサ



当日作ったメニュー

ラダ、豚汁、デザートにサツマイモの茶巾絞りを作りました。

できあがると子どもたちから大きな歓声が上がりました。

女性農業委員の金子孝子さんは、「二つの料理を協力して作る楽しさと、町産食材の良さを知ってほしい」と子どもたちに対する思いを口にしました。

また、全員に「みんなで協力して長いお寿司がおいしく作れました。これであなとも長巻寿司の達人です」と認定証が渡されました。平成29年度は、上川口小学校と入野小学校での開催を予定しています。



長巻寿司完成の様子

優勝目指し春の合宿

専修大学野球部が2月18日(土)、合宿のため黒潮町を訪れ、それを歓迎する式典が行われました。

式典では、大西町長から「練習環境を少しでも良いものにと、グラウンドの整備もしてきた。ぜひ有効に活用してほしい」と挨拶があり、若者たちへ激励の言葉を送りました。

「黒潮町の熱意を感じる」という齋藤正直監督を始めとし、チームは更なる躍進へ向けた練習に励みました。主将の和田裕生さんは、11月からチームの先頭に立ち、総勢約140人の部員をまとめることに努めてきました。「チームが勝つことが主将の役割を果たすこと。プレー以外にも、挨拶やマネーなどの力をつけていきたい」と、今後のチーム作りに対し意気込みを表しました。



贈呈品の文旦を受け取る齊藤監督



式典で町長からの挨拶を聞く選手ら

パークゴルフで交流を

北海道と黒潮町のパークゴルフ交流大会が3月9日(水)、土佐西南大規模公園で開催され、北海道から13人、黒潮町パークゴルフ協会から31人が参加しました。

パークゴルフは1983年、北海道中川郡幕別町で生まれ、幅広い年代で愛好されているスポーツ。

今回の交流大会は、黒潮町での冬場のスポーツの可能性を見出すため、NPO砂浜美術館が中心となり企画をしたもので、北海道の参加者から感想などを聞き、今後のツアー計画を練っていく予定です。

幕別町からも夫婦での参加があり、「今の季節、北海道では雪中ゴルフ。短く毛が揃った芝の上でプレイができるのは嬉しい」と、他の参加者らとともに南国での交流大会を楽しみました。最後には表彰があり、受賞者らには賞品が贈呈されました。



黒潮町パークゴルフ協会より挨拶



交流を楽しむ参加者たち